

出版物

学会誌『農業施設』



年次大会講演要旨、
シンポジウム・セミナー資料



農業施設 用語辞典



よくわかる
農業施設用語解説集



バックナンバーのご注文は
事務局にメールまたはFAXでお問い合わせください。

書店でお買い求めください。

入会案内

会員の種類

会員には、正会員、学生会員、賛助会員、購読会員があります。学生会員は、大学、大学院、短期大学、大学校等に在籍する学生の皆様が対象ですが、大学の社会人コース等に在籍している有職者は正会員の扱いとします。賛助会員および購読会員は、会社または団体が対象となります。

年会費

会員種別毎の年会費は以下の通りです。本会の会計年度は、4月1日～翌年3月31日で、年会費もその期間に対するものです。年度途中の入会の場合は、当該年度の学会誌既刊号を贈呈します。

正会員	学生会員	賛助会員	購読会員
8,000円	4,000円	30,000円 / 1口より	12,000円

* 常勤職を持たない満60歳以上の正会員、本国に帰国した留学生、修業年数分の年会費を一括納入する学生会員等を対象とした年会費の減免制度もあります。詳しくは学会事務局にお問い合わせください。

入会の手続き

正会員および学生会員として入会を希望の方は、ホームページの入会申込フォームに必要事項を記入の上、登録してください。事務局より会員番号をメールでご連絡します。その後、年会費を郵便振替口座へ送金ください。
郵便振替口座番号：00160-8-152927
加入者名：農業施設学会（ノウギョウシセツガッカイ）
賛助会員および購読会員としての入会を希望の方は、お手数ですが事務局までお問い合わせください。

お問い合わせ先



事務局：

〒305-0901 茨城県つくば市池の台2
農研機構 畜産研究部門 飼育環境ユニット内
TEL：029-838-8678 FAX：029-838-8719
E-mail：general@sasj.org
ホームページ： <http://www.sasj.org>

Ver. 1.0 (2016.12.06)



Practical Science
for a Sustainable Future

農業施設学会とは

本会は、生物・食料の生産から消費に関わる「空間」、特に施設、設備、システムなどを対象として学術的に機能化・体系化し、農業施設およびその関連分野において、実学として社会に貢献することを理念に、1970年に設立されました。

この理念の達成に向け、学術的発展、消費者・現場への貢献等を目的に掲げ、研究発表会、シンポジウム・セミナー等の開催並びに学会誌『農業施設』の刊行等を事業の柱に据えて活動を行っています。

方法

空間の機能化・体系化
基礎的な学問領域における技術・研究手法

対象

生物資源・食料の生産・流通・消費における施設、設備、システムおよび関連領域

目的

農業施設に関する学術的発展
現場への貢献
消費者への貢献
食の安全確保
環境保全への寄与
資源・エネルギーの有効活用

入会のメリット

- ✓ シンポジウム、セミナーで関連分野を含め、技術の動向、情報を得ることができます。
- ✓ 専門家による査読付きの学会誌『農業施設』へ論文を投稿できます。
- ✓ 様々な分野からの参加者が集う年次大会で発表を行うことができます。
- ✓ 学会が主催する現地見学会などのイベントに参加できます。
- ✓ 専門家に対して、学会経由で問い合わせをしたり、研究や調査の委託を行うことができます。
- ✓ 「若手の会」に参加し、研究者間の親睦と研究活動の活性化を図れます。
- ✓ 研究助成制度があります。
- ✓ 各種イベントや研究職の公募情報などをメールで受信・配信できます（希望者のみ）。

学会の概要

目的

本会は、会員相互の親和と協力により農業施設の研究と開発利用を推進し、その知識の向上と技術普及を図ることを目的としています。

研究活動範囲

本会は、基礎的な学問領域における技術・研究手法を基盤とし、生物生産、食料生産に関わる施設のシステム化や食の安全確保などの学術的・実学的な項目を目標に、以下に代表されるような研究対象を学会の研究活動領域としています。



農業施設とは

「建物を伴う農業生産・流通の場」を指す言葉です。ここでいう「場」とは、単なる場所ではなく、各種機械、設備を備えて生産機能の整った空間を意味します。



園芸施設



バイオガスプラント



畜舎・畜産施設



穀物乾燥調製施設



選果流通施設

沿革

1970年 農業施設研究会設立
1971年 『農業施設』1巻1・2号発刊
1974年 日本農学会加入
日本学術会議登録学術団体認定
農業施設学会へ名称変更
1984年 日本農業工学会加盟
1990年 「農業施設ハンドブック」刊行
1991年 常置委員会を設置
1996年 ホームページ開設
1998年 「農業施設用語事典」刊行
2003年 日本農業環境工学系学会連盟加盟
2011年 ロゴマーク制定
2012年 「よくわかる農業施設用語解説集」刊行
現在に至る
会員数約400名



精米工場



TMRセンター

学会の活動

学会誌

学会誌『農業施設』を年4回発行しています。学術的な研究論文や実際の技術論文・ノートのほか、論説、学会主催のシンポジウム、セミナー報告、海外の関連学会への参加報告、大会発表の要旨、学会外のイベント紹介などを掲載しています。

年次大会

毎年、研究発表を行う大会を開催しています。うち数年に一度、他学会との合同開催としています。大会の期間中は賛助会員を中心に企業展示も行い、会員と賛助会員企業との交流を図っています。



イベント

FOOMA JAPAN（国際食品工業展）でのシンポジウムをはじめ、一般の方も参加可能な多数のシンポジウム、セミナーなどを主催、共催、協賛しています。



研究助成

会員がグループで行う共同研究、研究会、シンポジウム等に対し、経費の一部を助成しています。

学会賞

以下の学会賞を選定、授与しています。

- 学術賞：主要な論文が学会誌に掲載された学術上の顕著な研究業績
- 奨励賞：主要な論文が学会誌に掲載された萌芽的研究業績
- 論文賞：学会誌に掲載された優れた論文
- プレゼンテーション賞：学生など若手による年次大会での優秀な発表
- 技術賞：農業施設の技術の向上に顕著な業績をあげた設計・施工例等
- 貢献賞：学会運営や学会活動における顕著な貢献

本会活動の最新情報は、学会ホームページをご覧ください。

<http://www.sasj.org>